

【総領事館からのお知らせ：メタノール混入酒による死亡事故】

平成21年6月3日（総09第37号）

在デンパサール日本国総領事館

メタノール混入酒による死亡事故

1. 5月25日頃より、バリ島ではメタノール混入酒を飲んだために、イギリス人やアメリカ人各1人を含め23人が死亡する事故が起こっています。また、サンラ病院には現在約20名が治療入院中であり、未だに搬送されてくる患者がいる模様です。

2. 当館よりバリ州警察本部に確認したところ、バドゥン県に所在する酒造メーカー（UD Tri Hita Karya）が製造したアラック（米や椰子の実を原料とした蒸留酒）が原因と見られているが、すでに地元の市場等を通じて出回っており、また他の酒造メーカーでも販売している可能性も否定できないことから、メタノール混入酒がどの程度流通しているか現在捜査中である旨回答を得ました。

なお、警察によれば、Tri Hita Karya社の「Lumbung Padi」やラベルの無いアラック等は飲用を避けるのが望ましいとのことでした。

3. つきましては、現在のところバリ州政府等インドネシア政府機関からの注意喚起は発出されていませんが、在留邦人の皆様におかれましては、アラック等アルコール類を購入される際には注意願います。

以上